



只見町ブナセンター だより

<ごあいさつ>

梅雨が明け、只見町も夏本番の暑さが続いておりますが、みなさまいかがお過ごしでしょうか。再び新型コロナウイルスの全国的な感染拡大傾向に予断を許さない状況が続いております。只見町ブナセンターでは、感染予防対策を徹底する中で附属施設の開館、観察会などのイベントを開催しております。また、只見町に足を運んでいただけない方々にも HP や SNS を通して施設紹介ならびに活動報告、その他自然に関する情報発信に努めております。引き続き只見町とブナセンターへのご支援をお願い申し上げます。

===== 開 催 案 内 =====

【企画展】

只見のブナ林の昆虫

日本有数の豪雪地である只見町には、積雪環境に適応したブナの森が豊富に存在します。只見の人達にとって身近な存在だったブナは、他の広葉樹とともに、定期的に伐採利用されてきました。集落近くでは利用されなくなったかつての薪炭林である二次林が広がる一方で、人手がほとんど入らなかった奥山には、成熟したブナ天然林が残されています。そうした環境にはブナ林を棲みかとする昆虫が数多く暮らしています。



本企画展では、只見町のブナ林で見られる代表的な昆虫類を取り上げ、それらがブナをどのように利用しているのか、またブナ林のどのような環境を必要とするのかを解説するとともに、ブナ天然林と二次林における昆虫相の違いについても明らかにします。

写真を中心とした解説パネルの展示と昆虫標本などの現物展示がおこなわれますので、只見町におけるブナ林の生態系や生物多様性について、昆虫の視点から理解を深めていただく機会となれば幸いです。

■会 期：2021年7月31日(土)～11月29日(月)

■場 所：ただみ・ブナと川のミュージアム 2階ギャラリー

【ブナセンター友の会写真展】

只見の自然と暮らしを撮る 第2展示室公開！

7月24日(土)よりセミナー室(第2展示室)を公開中です。観覧は無料ですので、お誘いあわせのうえ、ぜひお気軽にお越しください。

(※常設展・企画展の観覧には入館料がかかります。)

写真の応募は、写真展の開催期間中において随時募集しておりますので、ぜひご応募ください。

■会 期：2021年4月10日(土)～2022年3月31日(木)

■場 所：ただみ・ブナと川のミュージアム

休憩室(第1展示室)、セミナー室(第2展示室)



▲第1展示室



▲第2展示室

==== 行 事 案 内 ====

【自然観察会】

夏のブナ林で昆虫観察会

只見町にはブナを主とした落葉広葉樹林が豊富に存在し、そこにはブナを利用する昆虫やブナ林を棲みかとする昆虫類が多く生息しています。本観察会では、梁取地区のブナ林を散策しながら、そこで見られる昆虫を観察するとともに、それらの生態について学びます。

開催日時：2021年8月28日(土)

13時00分～15時30分

集合場所：明和振興センター 駐車場(13時00分)

(只見町大字小林字上照岡 1300)

観察場所：梁取のブナ林(学びの森)

持ち物：飲み物、行動食、雨具、長靴、マスク

参加費：高校生以上400円、小中学生300円(入館料、保険料込み)

町内在住の小・中学生・高校生は100円(保険料込み)

定 員：15名(事前予約制) 予約〆切：2021年8月27日(金)

お申し込み・お問い合わせは、只見町ブナセンターまで ☎0241-72-8355

※ 荒天時は中止あるいは時間を短縮することがあります



=====**活動報告**=====

【令和3年度第1回只見町ブナセンター運営委員会】 6月23日(水)

只見町ブナセンター運営委員会は、ブナセンターの適正かつ効果的な運営及びブナ林に代表される自然環境を核とした地域活性化を図るため開催しています。本年度は対面、オンライン、書面参加をあわせた形での開催となりました。

副委員長の挨拶、委員と事務局の自己紹介の後、事務局よりコロナ禍における企画展、講座、観察会の開催方針・計画、自然環境保護・保全事業、調査研究・人材育成事業、地域振興事業、情報発信事業など、令和3年度ブナセンター事業計画(案)について説明し、協議いただきました。常設展示、企画展の改善点をはじめ、リピーターや特に町民の皆さまに利用していただくための方策、専門的な知識を必要とする展示についての指導員による館内案内を求める意見、教育旅行の誘致、教育機関との連携、ユネスコエコパーク推進母体としてのブナセンター事業の展開など、書面による意見も含め、多くのご提案をいただきました。事務局側からは、企画展を様々な立場の方に理解いただくために、展示は比較的簡単な解説とし、ブックレットなどで詳細な解説を補完する二段階の展示方法を試行することを説明しました。



▲運営委員会の様子

只見町ブナセンターではいただいたご意見を、今年度の適正かつ効果的な運営およびユネスコエコパークの推進に活かしていきます。貴重なご意見をいただいた委員の皆さまに感謝申し上げます。

令和3年度只見町ブナセンター運営委員会

役職	氏名(敬称略)	所属等
委員長	鈴木 和次郎	元ブナセンター長および館長
副委員長	鈴木 サナエ	ブナセンター友の会副代表
委員 (順不同)	渡部 和子	只見町公認自然ガイド
	酒井 治子	只見線地域コーディネーター
	渡部 ヨリ子	ちよの会代表(伝承産品生産者)
	星 英典	只見町学校長会会長
	小林 めぐみ	福島県立博物館
	小林 誠	十日町市立里山科学館 越後松之山「森の学校」キヨロク
	渡部 康人	奥会津博物館
	渡部 賢史	只見町教育委員会

【自然観察会】

「春の花観察会」 5月2日（日）

5月2日、「春の花観察会」では11名の参加者の皆さんと、春の小雨が降る深沢地区の余名沢の森を歩きました。この森の春植物ではカタクリが最も多く、その他にキクザキイチゲなど数種の春植物が観察できました。余名沢の森では、スギの人工林、コナラの二次林、ブナの



▲ブナ倒木上で記念撮影(余名沢)

二次林など様々なタイプの林を見ることができますが、どこの林でも春植物が見られるわけではありません。つまり、スギ人工林やコナラ林では比較的春植物がみられるのに対し、ブナ二次林では全く見当たりません。その理由は、ブナが他の落葉広葉樹よりいち早く展葉し、多くの葉をつけることで、春先の林床に十分な光が入らないためです。参加者は、林のタイプによる光環境条件の違いが、どのように林床の春植物の出現へ影響するのかについて着目し、観察しました。

「新緑のブナ林観察会」 5月3日（月）

5月3日、「新緑のブナ林観察会」では曇り空の下、15名の参加者の皆さんと布沢地区の癒しの森を歩きました。ブナは5月初旬の只見の山肌を真っ先にライトグリーンに染め上げます。今年は3年ぶりのブナの開花年にあたり、ブナの花を観察することができました。ブナ



▲ブナの花(癒しの森)

は、同じ株の中で雄花と雌花が別々に存在する「雌雄異花同株^{しゅうい か どうしゅ}」で、写真のように雌花は枝先に上向きに咲く一方、柄をもった雄花は枝下に垂れ下がるように咲きます。このような花のつくりは、花粉を風に運ばせる風媒花^{ふうばいか}に特徴的なつくりです。ブナの花のつくりの観察のほか、原生的なブナ林と薪炭林生産の後に再生したブナ二次林の林相の違いや、林床に生育する多雪環境に適応したエゾユズリハ、ヒメアオキなどの低木種を観察しました。そのほか、オオイワウチワの花やサンショウクイなど鳥類^{さえず}の囀りも楽しむことができました。

「初夏の只見沢で溪畔林と雪食地形をみる！」

6月26日（土）

6月26日、只見沢の浅草岳登山道沿いにて観察会を行いました。只見沢は、雪食地形、只見地域の代表的な



▲雪食地形

森林植生であるブナ林、さらにはトチノキ・サワグルミの溪畔林といった只見地域を象徴する自然環境を観察できるコースとなっています。参加者は14名で、ブナセンター指導員が解説を行いました。只見沢浅草岳登山口の駐車場からは見事な雪食地形を見ることができます。こうした地形の形成には只見地域の主な地質である緑色凝灰岩と豪雪環境が大きく関わっています。

只見沢に並行する登山道を進むと冷温帯の溪畔林を代表するトチノキとサワグルミが優占する林を見ることができます。トチノキの葉が天狗の羽団扇のような掌状複葉なのに対して、サワグルミの葉は小葉が羽状に並ぶ奇数羽状複葉です。サワグルミの一斉林も見ることができ、過去に発生した土石流の跡地に更新してきたと考えられました。

さらに登山道を進み、只見沢から離れた緩斜面に出ると、比較的成熟したブナ林に出会えます。林内には倒木があり、その表面にはコケやキノコが生え、それらを食べるヤスデやヤマナメクジが集まっていた。さらに、キノコ等に集まるハエ等の小昆虫を捕食するサビハネカクシの姿も見られました。成熟した森林で見ることができる倒木は様々な生物の餌資源や隠れ場所になるだけでなく、それらの生物を捕食する生物も集まり、生物多様性に貢献していることが観察できました。

その他にも様々な生き物に出会うことができました。特に数が多かったのはマガタマハンミョウ、ブナ帯を代表する昆虫の一つです。後翅が退化しており、飛翔しないのが、ハンミョウの仲間の中では特異な点です。他にもヒメフナムシ、ギンリョウソウ等を見ることができました。

参加者からは「今回は只見の自然が凝縮されたフィールドで、大変興味深く楽しめました。サワグルミ、トチ、ブナ、昆虫もおもしろいです」などの声が寄せられ、充実した観察会となりました。



▲ 溪畔林の中で記念撮影

=====**お 知 ら せ**=====

【刊行物】

企画展解説シリーズ No.15 只見のブナ林の昆虫

企画展「只見のブナ林の昆虫」の開催に関連して、『企画展解説シリーズ No.15 只見のブナ林の昆虫』を刊行いたします。企画展の解説パネルは写真を中心に楽しめる展示となっていますが、より詳しく内容を知りたいという方は本書をご購入ください。ただみ・ブナと川のミュージアム、ふるさと館田子倉、あるいは通信販売にて購入できます。詳細はブナセンターホームページをご覧ください。

【動画紹介】

ブナセンター公式 YouTube チャンネルにて『木地師』公開！

三瓶庄介氏は只見町深沢の工房で平ベルトの電動轆轤（ろくろ）を操る只見町で唯一の木地師です。この 8 月で 90 歳となられますがその技に衰えはありません。只見町ブナセンターの特別取材チームは 3 月下旬の 2 日間、三瓶氏が生木からブナ皿を削り出す一連の工程を動画で記録しました。動画中の解説と監修は口クロ師でもある木工作家の明石浩見氏（新潟県阿賀町在住）、動画の撮影と編集はファンキーフィルムズ（東京）の西嶋 良氏が担当。動画「木地師」は只見町ブナセンターのホームページからご覧になれます。貴重な木地師の技を是非ご覧下さい。



只見町ブナセンター 2021 年度行事一覧（予定）

月	企画展	講座	自然観察会
8 月	7/31(土)~11/29(月) 「只見のブナ林の昆虫」		・ 8/8(日)「真夏のトンボ/夜の昆虫観察会」 ・ 8/28(土)「夏のブナ林で昆虫観察会」
9 月			9 月~10 月 「ブナと昆虫(仮)」
10 月			
11 月			・「秋の自然観察会」

<編集後記>みなさま、いつも大変お世話になっております。4 月からブナセンター指導員として勤めております三瓶晃一です。只見町出身です。自然環境に関する知識、職務経験ともに浅いですが、只見での暮らし、大学での学びを活かしてブナセンターの活動に貢献したいと考えております。今後ともご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。(三瓶)

発行 **只見町ブナセンター**

〒968-0421 福島県南会津郡只見町大字只見字町下 2590 番地



只見町ブナセンター

電話 0241(72)8355

ホームページ <http://www.tadami-buna.jp>

FAX 0241(72)8356

電子メール info-buna@amail.plala.or.jp

Facebook <https://www.facebook.com/tadami.buna>

附属施設「ただみ・ブナと川のミュージアム」、「ふるさと館田子倉」

開館時間：午前 9 時～午後 5 時（最終受付は午後 4 時まで）

休館日：火曜日（祝祭日の場合は翌平日）、年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）

入館料：高校生以上 310 円 小・中学生 210 円 未就学児無料（20 人以上は団体割引）

